

第5回 ふかまるつながる 宇治久世 在宅事例検討会

日頃は医療と介護の連携活動にご協力いただき誠にありがとうございます。
今回の事例検討会は下記の要領で行います。

日時：場所：2014年12月6日（土）午後3時から6時まで
場所：宇治徳洲会病院 講義室
司会：村山 祐一郎さん

最近 ある在宅専門医の方とのメール交換で看取りの現状を教えてくださいました。
「香川県で在宅専門診療所をしております。Mです。当院では過去7年間で600名弱の看取り
行い、在宅開始後10日以内に看取りをした患者さんは60名弱で約一割でした。24時間以内
という方も7名おられ・・・」

さて当地域での在宅がん患者の現状はどのような状態なのだろうか。またそのような症例に対
する医療と介護の課題は？

「退院から比較的短期(1ヶ月以内)に在宅看取りとなった症例」

症例提示者 ① かどさか内科クリニック 門阪 庄三 先生

症例提示者 ② 堀内 医院 堀内 房成 先生

事前学習がなくてもこの検討会に出るだけで在宅の現状が見えてきます。そして学びがで
きます。発表者だけではなく、参加者のみんなが事例検討会の全体のクオリティを支えていくと
いうような取り組みです。あたかも在宅現場で介護ヘルパーが、看護婦が、薬剤師が、医師が
みんなで患者さんを支えるように。

したがって、この検討会は在宅に関わるすべての方が対象です。医師。行政職、ヘルパー、
ケアマネ、看護師、薬剤師、包括支援センター職員、連携室スタッフほか参加者にほとんど制
限はありません。是非皆さんもグループワークに参加してください。そして事前学習がなくてもこ
の検討会に出るだけで在宅療養の一步先が見えてきます。前進することができます。

主催：宇治久世医師会・宇治徳洲会病院・第二岡本総合病院